

3月附幼だより

令和6年2月29日

一期一会の子育てを楽しみたい

附属旭川幼稚園園長 佐藤 公文

早いもので、もう3月です。1年が終わります。今年はコロナが5類に移行したことで、幼稚園の生活や活動も人が集まることができるようになって、3年ぶりに運動会も発表会も皆さんで楽しむことができました。本当に良かったな～と思います。

保護者の皆様は、お子さんの誕生から、お宮参り、100日のお食い初め、初誕生祭(一升餅)、初節句など、子供の行事を計画し、進めることで、生まれたことへの感謝や喜び、嬉しさや期待を家族で共有してこられたのだらうと思います。子供の行事は家族にとって、忘れられない特別なものです。

特にひな祭りは、子供に対して「7つまでは神の域」と言われるように、昔は子どもの栄養状態、医療の状況、流行り病など、7歳くらいまで生存するのは10人のうち7人くらいだったようで、子供が普通に育つことの難しさがあったのでしょう。また、子育ての考え方も7歳までは幼いので泣いたり、わがママを言ったりするのも多少は仕方ないという子育ての考えだったと考えられます。

それに比べると今の子供は社会性が高いように思います。幼児教育では基本的に「子供という幼稚な存在ではなく、それぞれの年齢や個性に合わせて一人の人として付きあう」と考えられています。また、実際の園児の姿を見ると、3歳児は、たっぷりの一人遊びが必要と考えられていますが、3学期頃には友達と一緒に遊ぶ様子が見られます。4歳児では「○○ちゃんと△△して遊びたい」と自分の思いを伝えるようになっていきます。5歳児は「みんなで昨日の積み木遊びの続きをしたい」と、みんなの共通の目標を持って遊ぶことが当たり前になってきています。

5歳おひさま組はこれから小学校へ入学し、社会へ出るまでの間、成功や失敗、人間関係の経験などを積み重ね、社会人となります。今の幼児期は幼児が成長する土台づくりの時期です。将来の子供の成長を少し想像し、子供の気持ちを理解し、大人のバックアップを感じながら、好きな遊びをすることをお大事にしてください。そして、保護者の皆様も**一期一会の子育て**を楽しんでください。

サケ放流は3月31日(日) 旭橋下流

水温約8度。サケの成長は順調です。餌を食べるために、稚魚は流れの上流を向いて泳ぎます。実際の川でも群れて上流を向きます。海へ下るときも敵の少ない夜、群れで下ります。

